

# 「人」台端末の効果的な活用に向けた取組

越前市大虫小学校

## 1 はじめに

本校では以下のことを目指し、効果的な活用について研究に取り組んだ。

- ・課題や資料の提示（視覚化・色・わかりやすい図・提示の方法）を工夫して、意欲を向上させる。
- ・自分の姿を客観的に見て振り返る（動画・写真・録音）ことで、主体的な学びを実現する。
- ・作業（付箋やカード・図形の移動・配付・回収）を工夫し、困難さの軽減と時短を図り、活動や思考の時間を確保する。
- ・様々な表現方法でまとめる学習を通して、思考力・表現力を育てる。
- ・考えの共有や比較を通して思考力を育てる。
- ・自分のペースで繰り返したり、活動量の調整やアプリで適切な支援をしたりすることで、意欲を向上させる。

## 2 実践事例

### ～動画・写真機能を使って主体的な学びの実現～

2学年では、体育「リズム遊び」でダンスに取り組んだ。まず、動画を再生して、お手本となる動作を確認して動きを覚えたり、難しいところを何回も見て練習をしたりした。そして、ある程度ダンスを覚えたところに、録画機能を使って自分の動きを確かめる活動を取り入れた。自分ではできているつもりでも、客観的に自分の姿を見ることで、自分とお手本の違いに気付き、自分ができていないところを発見することができた。そのことで、さらに練習を重ね、自分自身で満足できるような完成度が高いダンスに仕上がった。

3学年では、家庭学習で英語のアルファベット探しに取り組んだ。授業で大文字の学習をした後、宿題として家庭で使われているアルファベットを見つけ写真を撮りメタモジに貼った。身近なところにたくさんのアルファベットが使われていることに気付き関心を高めることができた。



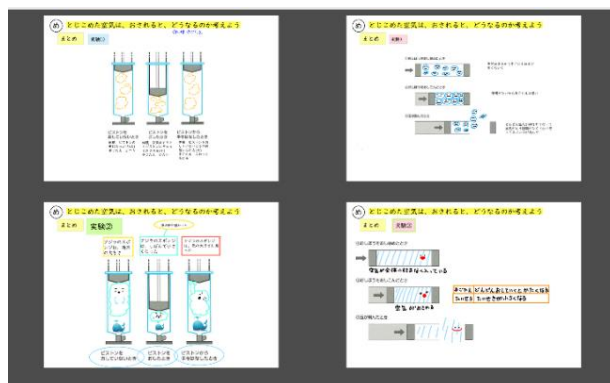
## ～活動（作業）の工夫で思考力を育てる～

1学年では、算数「大きいかず」で「どのように数えるとすぐに正しく数えられるか。」ということを考える場面で、タブレット上で数え棒を移動する活動を取り入れた。確認問題もタブレット上で行い、児童は楽しく集中して学習に取り組むことができた。数え棒を使わないので、作業も速く、机上もすっきりした。個人の活動の様子をモニターで確認できるので、進み具合やつまづきについて素早く支援することができた。「大きい数になればなるほど10のまとまりにした方が早く正しく数えられる」と児童は考えることができた。



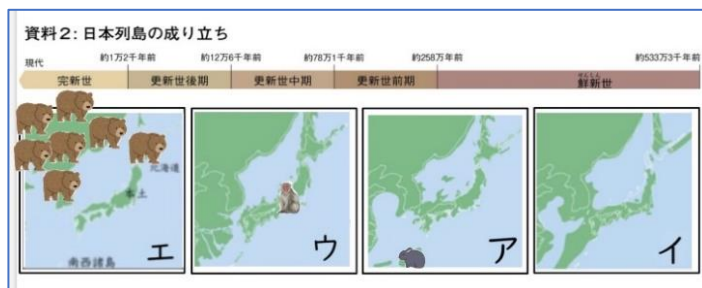
## ～表現の工夫と、共有・比較する活動で、思考力を育てる～

4学年の理科「とじこめた空気と水」では、単元を通してタブレットを活用した記録、思考、表現などを行い、1つのノートにまとめながら学習を進めた。図や写真、色、言葉などの様々な表現方法を用いて自分の考えを工夫しながら表現することができた。また、空気や水の性質を調べる実験では、ノート上にいくつかの素材を配置しておくことで、児童が興味をもった実験方法を自分で選び、探求していく個々に合った活動をすることができた。その中で、違った実験方法でも同じ結果にたどり着くまでの、考え方や表現の違いなどを児童同士が共有したり、比較したりしながら、自分の考えをさらに深めた。



## ～文章と資料を対応させる活動で、読む力を育てる～

5学年の国語「固有種が教えてくれること」では、文章に書かれている内容の意味を正確に捉える力をつけるため、資料をiPadで未完成の状態で見出し、本文の記述と対応させることで完成形を目指していく活動を取り入れた。資料を完成させるためには、児童は文章を精読し、情報を探し出すことが必要となるが、児童が意欲的にiPad上で資料を並べ替えたり、友達と意見を交流したりすることで、文章を注意深く読もうとする姿が見られた。つまづきをすぐに発見することができるので、個別支援に生かすことができた。これらの活動を通して、児童は楽しみながら精読することの良さを発見したり、日頃の自分の読み方を振り返ったりすることができた。



## ～アプリでパンフレットを作り、表現力を育てる～

6年では、ノートに代わるものとして、「goodnotes5」を利用した。「goodnotes5」はタブレット上にノートを広げることができるアプリで、普段の板書、自分の意見を書くなどの活動をタッチペンで直接書いたり、キーボードで文字を打ったりできる。最大のメリットは写真等の画像を貼り付けることができる点で、特に社会科では、人物画像や建造物などの写真をノートに自由にレイアウトし貼ることができる。紙のノートでは、教科書の画像をカラー印刷して、切って、のりで貼るという作業に多くの時間を使うこととなり、本来の思考する時間を確保することが難しい。その手間を省き、自分なりに見やすいノートを作ったり、1枚のパンフレットにまとめたりする活動に多くの時間を割くことができる。その活動を通して、まとめる力や表現する力が向上した。書いたページは1ページ単位で写真として取り込み「メタモジ」に提出することで、教員がチェックしたり、児童同士で見合い他者のまとめ方を参考にしたりした。

